

□ 要請番号 (JL32420A19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パラグアイ	G182 小学校教育	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・科学省

2) 配属機関名 (日本語)

レプブリカ・グアテマラ第126小学校

3) 任地 (パラグアイ県ジャガロン市) JICA事務所の所在地 (アスンシオン市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、就学前教育(3歳児～)、基礎教育課程第1サイクル(1～3年生)、第2サイクル(4～6年生)、第3サイクル(7～9年生)を擁する小学校である。1890年に設立され、授業は午前(7～11時)、午後(13～17時)の二部制で行われている。教員は62名、生徒数は約830名、地域基幹校の一つとして周辺校6校を兼轄している。政府からの予算は人件費のみで、校舎の管理費や教材費等は父母会等から約4800ドルの寄付にて賄っている。JICA海外協力隊の派遣実績は無い。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では、過去に派遣されていたJICA海外協力隊員が中心となり作成した算数科の教師用指導書(MaPara)、問題集(4D)、実物教材を取り入れた授業への転換を図っている。従来の「板書したものをノートに書き写す」だけの学習形態から、子ども一人一人が自ら考え、自己解決できる能力を養うための学習過程を目指している。2019年3月からMaPara(小学校1年生用)が教育・科学省より教師用指導書として正式に認可され、パラグアイ全国での使用が開始された。同校でも同様にMaParaを利用した授業を行っているものの、更なる児童の学業成績の向上や思考の発達を強化すべく、JICA海外協力隊の支援が求められた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

主には配属先校で活動を行いつつ、県教育総局、教育監督官事務所とも調整のうえ、主に以下の活動を行う。

- 算数科教師への各種助言
- 授業改善・指導力向上にかかる公開授業研究会、勉強会等への実施・支援
- 月1回開催される県内教師向けの研修会への支援
- 教育技術チームが開催する会議への参加
- 可能であれば、国内で開催されている算数オリンピックに参加する児童への対策指導

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机、椅子、プリンター

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・ 校長(男性、40代、教員経験24年)
- ・ 教育技術コーディネーター4名

活動対象者:

- ・ 教員:62名
- ・ 県内学校コーディネーター:60名(30～50代)

・対象児童:約420名(1～6年生)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (小学校教諭)

[学歴]: (大卒) 備考: 同僚と同等レベルが求められる

[性別]: () 備考:

[経験]: (指導経験) 2年以上 備考: 教員への指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (温暖湿潤気候) 気温: (0～40℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

住居はホームステイとなる予定。

【類似職種】